

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 00652 熊谷市スポーツ協会補助事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
政策達成課題	001 スポーツによるまちづくりを推進する
施策	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する
施策達成課題	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する
基本事務事業	002 熊谷市スポーツ協会補助事業
詳細事務事業	001 熊谷市スポーツ協会補助事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	2	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	
課題・分析	スポーツ協会の会計は適切に処理されており、市民へのスポーツの普及はもとより、加盟競技団体の振興にも寄与している。

【事業分析】	
対象	公益財団法人熊谷市スポーツ協会
目的	本市のスポーツを振興する。
手段	公益財団法人熊谷市スポーツ協会に対し、補助金を交付する。
その他	

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		5,628	5,633	5,000	5,000	0	0	0
事業費		5,000	5,000	5,000	5,000	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		5,000	5,000	5,000	5,000	0	0	0
人件費計		628	633	0	0	0	0	0
一般職員（人）		0.08	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）		0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-06-01-00-00	熊谷市スポーツ協会補助事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 00652 熊谷市スポーツ協会補助事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
スポーツ協会の加盟団体数	団体	28.00	28.00	28.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		28.00	28.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
スポーツ協会の加盟者数	人	128,000.00	128,000.00	128,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		10,690.00	10,964.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4	
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3	
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4	
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5	
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して	3	
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由						

【1 次評価結果】	
事業の方向性	現状維持 予算の方向性
1 次コメント (4 0 0 文字)	本市のスポーツ振興のため、継続して実施する必要がある。

【2 次評価結果】	
事業の方向性	現状維持 予算の方向性
2 次コメント (4 0 0 文字)	

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 01085 スポーツ推進事業

【基本情報】					
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	001 スポーツによるまちづくりを推進する				
施策	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
施策達成課題	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する				
基本事業	003 スポーツ推進事業				
詳細事務事業	001 スポーツ推進事業				
事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等	スポーツ基本法、熊谷市スポーツ推進委員に関する規則、スポーツ推進計画 事業内容を精査し、経費削減に努めた。				
課題・分析					

【事業分析】	
対象	市民
目的	大会の開催やスポーツ団体への支援を通して、スポーツの推進及び市民へのスポーツの普及を図る。
手段	スポーツ推進審議会の運営、スポーツ推進委員の活動支援、市総合スポーツ大会、スポーツ教室の開催委託、スポーツレクリエーション団体及び大会への補助、全国大会等に係る補助。各種スポーツ大会の実施、野外活動事業、体力測定等の実施、スポーツレクリエーション指導者バンクの活用。
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額	
トータルコスト	31,580	32,922	10,061	9,735	0	0	0	
事業費	8,601	8,504	10,061	9,735	0	0	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	8,601	8,504	10,061	9,735	0	0	0	
人件費計	22,979	24,418	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度属託職員（人）	0.10	0.65	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-03-01-00-00	スポーツ推進事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 01085 スポーツ推進事業

【定量評価】										上段：目標値	下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度			
スポーツ教室種目数	種目	18.00	18.00	18.00	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		18.00	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
スポーツ教室参加者数	人	2,100.00	2,100.00	2,100.00	2,100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		2,169.00	2,082.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
卓球観善大会の実施回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
卓球観善大会参加者数	人	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		104.00	112.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由					

【1次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント （400文字）	【熊谷市誕生20周年記念】①熊谷めぬま駅伝大会 冠事業として ②市総合スポーツ大会 冠事業として 令和6年との比較では、スポーツ推進委員被服費補助事業の全員補助対象年度ではないため、減額となっている。 。その他事業については同規模で行っていくため、現状維持とした。	

【2次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 01384 口腔外傷防止用具（マウスガード）補助事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
政策達成課題	001 スポーツによるまちづくりを推進する
施策	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する
施策達成課題	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する
基本事務事業	004 口腔外傷防止用具（マウスガード）補助事業
詳細事務事業	001 口腔外傷防止用具（マウスガード）補助事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	業務経費		

根拠法令等	熊谷市市民の歯と口の健康づくりを推進する条例、熊谷市口腔外傷防止用具補助事業実施要綱 制度の普及のためのPRを行う。
課題・分析	

【事業分析】	
対象	口腔外傷防止用具（マウスガード）を作製した市内在住・在学する学生。
目的	歯と口の健康づくりを通して、地域住民のスポーツによる健康づくりを支援し、健康寿命の延伸、健康で質の高い生活の維持向上を図る。
手段	口腔外傷防止用具（マウスガード）の作製に対し補助を行う。
その他	

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		965	1,429	1,000	1,000	0	0	0
事業費		565	595	1,000	1,000	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		565	595	1,000	1,000	0	0	0
人件費計		400	834	0	0	0	0	0
一般職員（人）		0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員（人）		0.01	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-29-01-00-00	口腔外傷防止用具（マウスガード）補助事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 01384 口腔外傷防止用具（マウスガード）補助事業

【定量評価】		上段：目標値						下段：実績値	
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
マウスガード補助対象者	人	300.00	300.00	300.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		130.00	139.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】		基準				ランク
カテゴリ	評価の観点					
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している		4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由						

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 00008 熊谷さくらマラソン大会事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
政策達成課題	001 スポーツによるまちづくりを推進する
施策	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する
施策達成課題	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する
基本事務事業	006 熊谷さくらマラソン大会事業
詳細事務事業	001 熊谷さくらマラソン大会事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	
課題・分析	令和 6 年 3 月 1 7 日（日）に第 3 4 回熊谷さくらマラソン大会を開催した。新型コロナウイルス感染症 5 類移行後、5 大会ぶりの通常開催となり、予全国各地から 5、1 6 9 名の参加（申込）があった。 一方で、大会運営費単価の高騰などあるなかで、どのような仕掛けでコロナ禍以前の盛り上がりを取り戻していくのかが課題。

【事業分析】	
対象	市民及び全国各地からの市民ランナー
目的	市民及び全国各地からの市民ランナーの参加するマラソン大会を実施し、本市を P R するとともに、健康の増進、体力の向上を図る。
手段	市スポーツ協会をはじめ関係機関・団体等の協力による実行委員会を組織して補助金を交付し、多くの市民ランナーが参加できるよう実行委員会が企画・運営を行う。
その他	

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 決算額	令和 6 年度 予算額	令和 7 年度 計画額	令和 8 年度 計画額	令和 9 年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		13,663	16,825	5,000	7,000	0	0	0
事業費		5,000	5,000	5,000	7,000	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		5,000	5,000	5,000	7,000	0	0	0
人件費計		8,663	11,825	0	0	0	0	0
一般職員（人）		1.00	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）		0.50	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-07-01-00-00	熊谷さくらマラソン大会事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 00008 熊谷さくらマラソン大会事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和10年度	
実施回数	回	1.00 1.00	1.00 1.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	
参加申込数	人	7,000.00 4,493.00	7,000.00 5,169.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	

【定性評価】		基準				ランク
カテゴリ	評価の観点					
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		3
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してる		3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してる		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由						

【1 次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1 次コメント （4 0 0 文字）	【熊谷市誕生 2 0 周年記念】 新型コロナウイルス感染症が第 5 類指定移行後、平成 3 0 年度（2 9 t h）大会以来の通常開催で第 3 4 回大会を開催することができた。今大会では、徐々に回復しつつある参加者数ではあるが、コロナ以前の水準に満たない状況の中、各種事項について見積もり合わせや業者変更により、前回 1,904 円だった繰り越し金を 1,008,979 円まで増やすことができた。 一方第 3 5 回大会では、各種経費の高騰している背景の中で、機構変更に伴う特別協賛団体の協力が不透明であり、現行の運営態勢の維持が困難である。以上のことから、令和 7 年度は増額としている。	

【2 次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2 次コメント （4 0 0 文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 00009 高校女子サッカー大会（めめまカップ）事業

【基本情報】

計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち			
政策達成課題	001	スポーツによるまちづくりを推進する			
施策	001	生涯にわたるスポーツ活動を推進する			
施策達成課題	001	生涯にわたるスポーツ活動を推進する			
基本事務事業	007	高校女子サッカー大会（めめまカップ）事業			
詳細事務事業	001	高校女子サッカー大会（めめまカップ）事業			

【事業分析】

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

【事業分析】

根拠法令等	
課題・分析	全国から４３チームを選出しての実施となったが、目標参加者数1,000人を維持している。目的とする女子サッカーの技術やレベルの向上に繋がっており、引き続き全国に本市のPRを行い、スポーツによる地域の活性化に努める。

【事業分析】

対象	大会参加チーム及び市民
目的	全国から高校女子サッカーの優秀なチームを本市に招待し、大会を通じて女子サッカーの技術やレベルの向上を図るとともに、大会を盛り上げる企画などで全国に本市のPRを行い、スポーツによる地域の活性化を図る。
手段	選抜高校女子サッカー大会「めめまカップ」in熊谷を開催するため、実行委員会に対し補助金を交付し、実行委員会が企画・運営を行う。
その他	

(単位：千円)							
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	12,125	12,781	4,000	4,000	0	0	0
事業費	4,000	4,000	4,000	4,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,000	4,000	4,000	4,000	0	0	0
人件費計	8,125	8,781	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.25	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-08-01-00-00	高校女子サッカー大会（めめまカップ）事業	総合政策部スポーツタウン推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 00009 高校女子サッカー大会（めめまカップ）事業

【定量評価】

指標名		単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
参加校	校		48.00	48.00	48.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			47.00	43.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
参加者数	人		1,500.00	1,500.00	1,500.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			1,413.00	1,235.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ		評価の観点			基準		ランク			
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある			4			
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある						
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい						
			2	目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり						
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである			2			
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである						
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである						
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである						
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし			4			
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ						
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している						
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る						
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である			3			
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体						
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である						
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である						
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる			3			
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる						
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している						
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している						
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない						

【1 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1 次コメント （４００文字）			

【2 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント （４００文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 01782 「総合戦略」スクラム！クマガヤ推進事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
政策達成課題	001 スポーツによるまちづくりを推進する
施策	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する
施策達成課題	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する
基本事務事業	010 「総合戦略」スクラム！クマガヤ推進事業
詳細事務事業	001 「総合戦略」スクラム！クマガヤ推進事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	
課題・分析	【課題】 市内および市内外における「スクラム！クマガヤ」の認知度 【分析】 RWC 2019 を機にラグビータウン熊谷の新たなスローガンとして誕生したスクラムだが、「ラグビータウン推進課」から「スポーツタウン推進課」へと変化する中で新たなブランディング・市内外への認知度の向上が必要であると考える。

【事業分析】	
対象	市民
目的	官民一体となってラグビータウン熊谷を推進していくとともに、ラグビータウンとして市民が自主的に展開するまちを目指す。
手段	①スクラム！クマガヤを使用した民間活動の拡大 ②ホームページでのスクラム！クマガヤに関連した情報の発信 ③市内ラグビーチームの支援 ④熊谷ラグビー場での試合時におけるイベントの実施と支援
その他	

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		18,135	22,689	7,734	8,787	0	0	0
事業費		4,401	7,789	7,734	8,787	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		1	1	0	0	0	0	0
一般財源		4,400	7,788	7,734	8,787	0	0	0
人件費計		13,734	14,900	0	0	0	0	0
一般職員（人）		1.81	1.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員（人）		0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-33-01-00-00	「総合戦略」スクラム！クマガヤ推進事業	総合政策部ラグビータウン推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 01782 「総合戦略」スクラム！クマガヤ推進事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
スクラム利用申請・届出数	件	100.00	100.00	100.00	120.00	140.00	0.00	0.00	
		115.00	106.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
スクラムLINEスタ利用者数	人	500.00	650.00	400.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		469.00	242.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】		基準			ランク
カテゴリ	評価の観点				
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由					

【1 次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1 次コメント (400 文字)			

【2 次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント (400 文字)			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 01862 ワイルドナイツ連携事業

【基本情報】	
計画回数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
政策達成課題	001 スポーツによるまちづくりを推進する
施策	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する
施策達成課題	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する
基本事務事業	011 ワイルドナイツ連携事業
詳細事務事業	001 ワイルドナイツ連携事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	
課題・分析	令和3年8月、埼玉パナソニックワイルドナイツが熊谷へ本拠地を移転した。将来、少なくとも35年は熊谷を拠点として活動をしていくこととなる。チームとの関係性を構築し、チームと連携しながらラグビータウン熊谷の持続可能性の確保を図る必要がある。ラグビーが生活に溶け込んだ活気のある魅力的なまちづくりを推進するため、チームや埼玉県ラグビー協会と連携し、各種事業を展開する。 平成31年3月27日 埼玉県、熊谷市及びパナソニック株式会社とのラグビーフットボールを通じた地域振興等に関する協定を締結。令和2年7月14日 埼玉県ラグビー協会によるクラブハウス等建設計画の発表。同時に完成後の本拠地移転についてチームから表明。令和3年8月 本市に本拠地を移転。

【事業分析】	
対象	
目的	チームの存在がより幅広く市民に浸透していくことで、市民の誇りとなり、また、その活躍が市の活力となることを期待する。チームを通じラグビータウン熊谷を全国へ発信するとともに、市民のラグビーに対する関心の向上、熊谷市への愛着形成及びファン層の拡大を図る。
手段	チームのホームタウン活動の共有や情報交換、各種調査などを行い、同活動を支援する。
その他	

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		83,557	25,420	11,236	11,329	0	0	0
事業費		76,804	15,293	11,236	11,329	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		76,804	15,293	11,236	11,329	0	0	0
人件費計		6,753	10,127	0	0	0	0	0
一般職員（人）		0.89	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）		0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-35-01-00-00	ワイルドナイツ連携事業	総合政策部ラグビータウン推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 01862 ワイルドナイツ連携事業

【定量評価】		上段：目標値						下段：実績値	
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
応援バスツアー参加者	人/回	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	
		60.00	160.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5 4 3 2 1	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				どちらかといえば、実施したほうがよい	
				目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
	理由			事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5 4 3 2 1	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
				安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
	理由			市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 4 3 2 1	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
				他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
	理由			本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5 4 3 2 1	直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
				直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
	理由			直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 4 3 2 1	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	4
				事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
				事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
	理由			事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント （400文字）		

【2次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 02059 パブリックビューイング事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
政策達成課題	001 スポーツによるまちづくりを推進する
施策	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する
施策達成課題	001 生涯にわたるスポーツ活動を推進する
基本事務事業	016 パブリックビューイング事業
詳細事務事業	001 パブリックビューイング事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	
課題・分析	【課題】 物価や人件費の高騰による委託費用の高騰。 【分析】 来場者アンケートの結果から、好評であることが分析できる。ホストゲーム観戦の動機付けに繋げるためにも、継続的に実施することで文化として根付かせたい。

【事業分析】	
対象	市民、ファン
目的	PVの実施により、より多くのラグビー試合観戦機会を設け、ラグビーを身近に感じることのできる環境を市民に提供することで、更なるラグビータウンの推進を図る。また、ラグビーワールドカップ2023フランス大会等において、本市ゆかりの選手出場試合のPVを実施し、市民が一体となって応援する風土づくりと地域の一体感の醸成を図ることを目的とする。
手段	
その他	

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		0	14,536	12,800	9,200	0	0	0
事業費		0	11,676	12,800	9,200	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	11,676	12,800	9,200	0	0	0
人件費計		0	2,860	0	0	0	0	0
一般職員（人）		0.00	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）		0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 02059 パブリックビューイング事業

【定量評価】		上段：目標値						下段：実績値	
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
平均来場者数	人	0.00 0.00	100.00 110.00	100.00 0.00	100.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度		5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
	4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある				
	3 どちらかといえば、実施したほうがよい				
	2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり				
	1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した				
理由	PVを文化として根付かせるには一定期間の継続が必要				2
事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである			
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである			
		3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである			
		2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである			
理由	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する				
3	事中評価	事業主体の妥当性		5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
	4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ				
	3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している				
	2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る				
	1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る				
理由					
4	事中評価	事業の対象者		5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
	4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体				
	3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である				
	2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である				
	1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である				
理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握		5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4
	4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している				
	3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している				
	2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している				
	1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない				
理由					

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント （400文字）			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント （400文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 01832 荒川公園周辺再整備事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
政策達成課題	001 スポーツによるまちづくりを推進する
施策	002 スポーツ環境の充実を図る
施策達成課題	001 スポーツ環境の充実を図る
基本事務事業	005 荒川公園周辺再整備事業
詳細事務事業	001 荒川公園周辺再整備事業

事業期間	令和 3年度 ～ 令和12年度	10 年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	熊谷市個別施設計画 【課題】 ①新耐震基準（S56年）に不適合。②「第一種住居地域」であることから、建て替え（更新）の場合、現在と同等の延べ床面積を維持できない。③アリーナ照明が「水銀灯」であるが、故障時に「水銀に関する水俣条約」により調達が困難であり、LED化が求められている。④日本一暑い都市において、空調設備が未整備である。⑤総合振興計画に掲げる「スポーツによるまちづくり」を推進するうえで、時代のニーズに対応していない。 【分析】 既に「荒川公園周辺再整備検討会」を設置し、時代のニーズや将来を見据えて検討を進めており、本市の更なる発展と次世代に繋げるための再整備を計画的に進めることが求められている。
-------	---

【事業分析】	
対象	現市民体育館敷地及び荒川公園エリア
目的	次世代を見据えた求められる機能、施設計画の条件等を整理し、施設の基本的な計画内容をまとめるとともに、民活手法による事業の実施可能性について評価を行う。
手段	
その他	

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		30,872	18,110	186	45,291	0	0	0
事業費		19,469	878	186	45,291	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		19,469	878	186	45,291	0	0	0
人件費計		11,403	17,232	0	0	0	0	0
一般職員（人）		1.50	2.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員（人）		0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 01832 荒川公園周辺再整備事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度

【定性評価】		評価の観点		基準	ランク		
1	事中評価	事業の優先度	5 4 3 2 1	他の事務事業に優先して実施する必要がある 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	5		
	理由						
	事中評価	事業の必要性	5 4 3 2 1	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		1	
	理由						
	理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 4 3 2 1	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	4		
	理由						
	理由						
	4	事中評価	事業の対象者	5 4 3 2 1		直接の対象は、すべての市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	5
		理由					
理由							
5		事中評価	市民ニーズの把握	5 4 3 2 1	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	3	
		理由					

【1次評価結果】		
事業の方向性	事業拡大	予算の方向性
基本計画策定に向けたワークショップやアンケート等を実施するほか、必要な調査を実施する。		
1次コメント （400文字）		

【2次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 01723 スポーツコミッション事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
政策達成課題	002 スポーツツーリズムを推進する
施策	001 熊谷スポーツコミッションを推進する
施策達成課題	001 熊谷スポーツコミッションを推進する
基本事業事業	008 スポーツコミッション事業
詳細事務事業	001 スポーツコミッション事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	
課題・分析	大規模大会の運営を主管する県のスポーツ団体にに対し積極的に誘致活動を行い、全国規模の大会を 3 大会、関東規模の大会を 5 大会、計 8 大会を誘致して支援することで、交流人口の拡大を図ることができた。 大会参加者、関係者に対してアンケート調査を実施し、市内や周辺観光の予定があるが確認したところ、全体の約90%の人が観光の予定がないと回答しており、来訪者を観光にどう繋げるかが課題となっている。

【事業分析】	
対象	関東大会以上のスポーツ大会を主催する団体及び来訪者
目的	大規模スポーツ大会の誘致等に取り組み、スポーツを通じた交流人口の拡大を図るとともに、観光事業とも密接に連携し地域経済の活性化を目指す。
手段	市、熊谷商工会議所、（一社）熊谷市観光協会、（公財）熊谷市スポーツ協会及び事業に密接に関連する事業者との連携
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	27,371	16,349	6,589	6,981	0	0	0	0
事業費	4,586	5,803	6,589	6,981	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,586	5,803	6,589	6,981	0	0	0	0
人件費計	22,785	10,546	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	3.00	1.37	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.01	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 01723 スポーツコミッション事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
関東大会以上の大規模大会	件	8.00 11.00	8.00 8.00	8.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5 4 3 2 1	他の事務事業に優先して実施する必要がある 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	4
	理由				
	事中評価		5 4 3 2 1	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	3
	理由				
	事中評価		5 4 3 2 1	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	3
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5 4 3 2 1	直接の対象は、すべての市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	1
	理由				
	事中評価		5 4 3 2 1	市民ニーズの把握 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	3
	理由				
	理由				

【1 次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1 次コメント （ 4 0 0 文字）	熊谷スポーツコミッションを周知するため、啓発用グッズを作成し、関係団体を訪問して、大規模スポーツ大会の誘致を図るほか、誘致した大会を観光協会等と連携して支援していく。	

【2 次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2 次コメント （ 4 0 0 文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 00007 ラグビータウン熊谷推進事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
政策達成課題	002 スポーツツーリズムを推進する
施策	002 スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する
施策達成課題	001 スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する
基本事務事業	002 ラグビータウン熊谷推進事業
詳細事務事業	001 ラグビータウン熊谷推進事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	
課題・分析	課題 ①全国高校選抜ラグビーフットボール大会において、補助金を出しているにもかかわらず、別で消耗品等を支出している項目がある。 分析 ①ラグビーポスター展は、小中学生がラグビーを知る良い機会となっており、ラグビータウンの推進において、効果が見られる一方、教育現場において業務の負担となっている。

【事業分析】	
対象	市民
目的	熊谷ラグビー場を活用し本市の振興と活性化を図るとともに、ラグビータウン熊谷を全国に発信する。
手段	大会、イベントを契機に。 ①全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会への支援と規模拡大の働きかけ ②集客力のある公式戦（日本代表戦を含む）、定期戦の誘致 ③7人制ラグビーの普及と大会の開催 ④ホームページでの熊谷ラグビー情報の発信
その他	

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		31,484	32,604	20,040	19,662	0	0	0
事業費		8,645	8,525	20,040	19,662	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		8,645	8,525	20,040	19,662	0	0	0
人件費計		22,839	24,079	0	0	0	0	0
一般職員（人）		3.01	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）		0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-18-05-01-00-00	ラグビータウン熊谷推進事業	総合政策部スポーツタウン推進課
01-02-01-18-05-01-00-00	ラグビータウン熊谷推進事業	総合政策部ラグビータウン推進課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 1070000 総合政策部スポーツタウン推進課
短縮番号 00007 ラグビータウン熊谷推進事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
全国高等学校選抜ラグビー大会の観客数	人	18,850.00	18,850.00	18,850.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		10,420.00	12,300.00	0.00		0.00	0.00	0.00
スポレク・タグラグビー大会の参加チーム数	チーム	50.00	60.00	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		72.00	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
公式戦ポスターの応募者数	人	550.00	600.00	700.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		472.00	795.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		基準			ランク
カテゴリ	評価の観点				
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由	スポーツによるまちづくりの中核スポーツ				2
事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		
		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
		3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する				
理由	スポーツによるまちづくりの中核スポーツ				5
事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		
		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
		3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る				
理由	まちづくりの中核をなすため、市で行う必要あり				5
事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		
		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
		3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である				
理由	スポーツによるまちづくりの中核スポーツ				4
事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している		
		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している		
		3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない				
理由					

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント （400文字）			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント （400文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 00005 スカイスポーツフェスタ事業

【基本情報】					
計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち			
政策達成課題	002	スポーツツーリズムを推進する			
施策	002	スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する			
施策達成課題	001	スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する			
基本事務事業	001	スカイスポーツフェスタ事業			
詳細事務事業	001	スカイスポーツフェスタ事業			

事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	熊谷市観光協会補助金交付要綱				
課題・分析					

【事業分析】					
対象	市民及び観光客				
目的	昭和38年に開設以来、飛行回数と飛行時間が共に日本一を誇り、グライダーの聖地として知られる妻沼滑空場を舞台に、埼玉スカイスポーツフェスタを開催し、グライダー、気球などの体験談発表会等を実施し、空のスポーツとしてのグライダーの魅力アピールする。				
手段	(一社) 熊谷市観光協会に補助金を交付し、イベント開催を支援する。 メディアに対する積極的な情報発信を行う。				
その他					

【コスト】							
(単位：千円)							
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	308	596	1,540	1,540	0	0	0
事業費	212	367	1,540	1,540	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	212	367	1,540	1,540	0	0	0
人件費計	96	229	0	0	0	0	0
一般職員 (人)	0.01	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員 (人)	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-40-01-00-00	スカイスポーツフェスタ事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 00005 スカイスポーツフェスタ事業

【定量評価】									
上段：目標値 下段：実績値									
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
開催回数	回	1.00 0.00	1.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
参加者数	人	6,000.00 0.00	6,000.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】				
カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	事中評価	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2	目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由			
2	事中評価	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由			
3	事中評価	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由			
4	事中評価	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由			
5	事中評価	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して	3
		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して	
		3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由			

【1次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント (400文字)		

【2次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント (400文字)		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 01577 グライダー推進事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
政策達成課題	002 スポーツツーリズムを推進する
施策	002 スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する
施策達成課題	001 スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進する
基本事務事業	003 グライダー推進事業
詳細事務事業	001 グライダー推進事業

事業期間	平成29年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	市有グライダーによる市民対象の体験搭乗会を2回開催。グライダーの魅力をアピールするとともに、市有グライダーの維持管理を行う。
課題・分析	

【事業分析】	
対象	市民及び観光客
目的	昭和38年開設以来、飛行回数と飛行時間が共に日本一を誇り、グライダーの聖地として知られる妻沼滑空場で、市有グライダーによる市民対象の体験搭乗会を開催し、グライダーの魅力をアピールするとともに、市有グライダーの維持管理を行う。
手段	「公益財団法人日本学生航空連盟」や「めぬまグライダークラブ」等との連携を図る。
その他	「公益財団法人日本学生航空連盟」や「めぬまグライダークラブ」の支援を行うとともに、市有グライダーの維持管理を図る。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		2,350	2,393	1,798	2,066	0	0	0
事業費		1,440	1,399	1,798	2,066	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		237	0	0	218	0	0	0
一般財源		1,203	1,399	1,798	1,848	0	0	0
人件費計		910	994	0	0	0	0	0
一般職員（人）		0.12	0.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-46-01-00-00	グライダー推進事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 01577 グライダー推進事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
グライダー搭乗会	回	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
グライダー搭乗者	人	30.00	30.00	30.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		15.00	26.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5 4 3 2 1	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				どちらかといえば、実施したほうがよい	
				目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
	理由			事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5 4 3 2 1	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	1
				安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
	理由			市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 4 3 2 1	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
				他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
	理由			本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5 4 3 2 1	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
	理由			直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 4 3 2 1	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	3
				事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
				事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
	理由			事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント （400文字）	・曳航費増による増額。 ・グライダータイヤ交換修理による増額 ・除草費用の増額	

【2次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 1010000 総合政策部企画課
短縮番号 01555 ふるさと熊谷応援寄附金推進事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち			
政策達成課題	003	観光を推進する			
施策	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる			
施策達成課題	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる			
基本事務事業	018	ふるさと熊谷応援寄附金推進事業			
詳細事務事業	001	ふるさと熊谷応援寄附金推進事業			

事業期間	平成28年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	地方税法第37条の2、第314条の7、所得税法第78条
課題・分析	多くの自治体が本制度を利用する中、寄附を受け入れるには、引き続き返礼品の開発に加え、広報力、共感を得られる寄附の使途の設定などが必要となっている。 しかし、H29年4月に総務省が全国の自治体に対して、返礼品は3割以下とすること、高価な返礼品を取りやめることなどを求めて以降、ふるさと納税制度が厳格化している。R5年度には、返礼品基準が厳格となり、25の返礼品が取り下げとなった。今後もさらなる制度変更が見込まれるため、寄附額を伸ばす手法を探りつつ対応をしていく必要がある。

【事業分析】

対象	1回1万円以上の寄附を行った、市外在住の個人
目的	ふるさと納税を通じて、地域振興と本市の魅力を全国にPRする。また、寄附による新たな財源確保を図る。
手段	①ふるさとチョイス、楽天 ②返礼品の開発、選定、生産者との調整、広報及び発送委託（一般社団法人熊谷市観光協会に委託）
その他	寄附件数・金額【H28】1,202件：2934万7088円、【H29】731件：1726万1000円【H30】760件：2549万3000円、【R1】859件：2350万337円、【R2】912件：4332万1,340円【R3】1,352件 4222万4314円【R4】1,304件 5314万円【R5】1,022件 5130万5000円

		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		20,452	25,623	30,720	30,998	0	0	0
事業費	事業費	18,783	21,416	30,720	30,998	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	18,783	21,416	30,720	30,998	0	0	0
	人件費計	1,669	4,207	0	0	0	0	0
	一般職員（人）	0.22	0.55	0.92	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】	
予算事業	予算事業番号
01-02-01-07-64-01-00-00	ふるさと熊谷応援寄附金推進事業
	予算所属名称
	総合政策部企画課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 1010000 総合政策部企画課
短縮番号 01555 ふるさと熊谷応援寄附金推進事業

		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
寄附金額	千円	28,000.00 53,140.00	41,500.00 51,305.00	70,000.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
		4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2 目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2 理由	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3 事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
		4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4 理由	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	4
		4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5 事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	3
		4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
		3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由			

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)	令和6年度にふるさと納税ポータルサイトを新規に追加し、寄附額の増加を図る。これに伴い、寄附件数が増加することで手数料等に要する経費も増額を見込む。		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 00014 観光振興事業

【基本情報】	
計画次数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
政策達成課題	003 観光を推進する
施策	001 おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる
施策達成課題	001 おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる
基本事業	022 観光振興事業
詳細事業	001 観光振興事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	業務経費		

根拠法令等	加盟している協議会等との連携を図る必要がある。				
課題・分析					

【事業分析】	
対象	市民及び観光客
目的	観光振興業務の円滑な推進を図り、熊谷への誘客を目指す。
手段	埼玉県物産観光協会等の主催する観光キャンペーンへの参加
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	4,648	5,445	4,016	19,694	0	0	0	
事業費	3,434	3,457	4,016	19,694	0	0	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	3,434	3,457	4,016	19,694	0	0	0	
人件費計	1,214	1,988	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	0.16	0.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-02-01-00-00	観光振興事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 00014 観光振興事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値							
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	
熊谷市観光入込客数	人	4,398,000.00 1,829,472.00	4,548,000.00 3,411,560.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
W i - F i ア ク セ ス 数	件	168,000.00 114,223.00	168,000.00 76,618.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
W i - F i 利 用 者 数	人	100,000.00 49,170.00	100,000.00 45,334.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	

【定性評価】		評価の観点			基準		ランク	
1	事中評価	事業の優先度	5 4 3 2 1	他の事務事業に優先して実施する必要がある 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した			4	
	理由							
	事中評価							
	理由							
	理由							
2	事中評価	事業の必要性	5 4 3 2 1	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する			2	
	理由							
	理由							
	理由							
	理由							
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 4 3 2 1	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る			3	
	理由							
	理由							
	理由							
	理由							
4	事中評価	事業の対象者	5 4 3 2 1	直接の対象は、すべての市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である			5	
	理由							
	理由							
	理由							
	理由							
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 4 3 2 1	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない			4	
	理由							
	理由							
	理由							
	理由							

【1 次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1 次コメント （ 4 0 0 文字）	・熊谷駅観光案内所維持管理経費の計上 ・フリーWi-Fiの更新に係る経費の計上		

【2 次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント （ 4 0 0 文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 00016 星川環境整備事業

【基本情報】					
計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち			
政策達成課題	003	観光を推進する			
施策	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる			
施策達成課題	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる			
基本事業	024	星川環境整備事業			
詳細事務事業	001	星川環境整備事業			

事業期間	平成21年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	
課題・分析	中心市街地のシンボルである星川を、地域団体・商店街と行政が一体となって景観の維持を図っている。橋梁や路盤など経年劣化により改修が必要となっていることから、来街者を迎えるうえで、また星川を中心とした多くのイベント開催の会場として改修を計画（要請）していく。

【事業分析】	
対象	星川及び星川通り
目的	熊谷市の中心街の中核的観光施設である星川シンボルロードの維持管理、環境整備を行う
手段	地域団体への働きかけ等を通じて、星川の適切な維持管理を図る
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	2,365	3,550	967	1,305	0	0	0	0
事業費	468	567	967	1,305	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	468	567	967	1,305	0	0	0	0
人件費計	1,897	2,983	0	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.25	0.39	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-02-51-01-00-00	星川環境整備事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 00016 星川環境整備事業

【定量評価】										上段：目標値 下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度		
作業日数	日	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00	76.00		76.00
		76.00	76.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00

【定性評価】		評価の観点		基準		ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある		4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい		
			2	目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである		2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし		4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である		4
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直して		3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直して		
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直して		
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直して		
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由						

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント （400文字）			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント （400文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 01566 観光協会運営支援事業

【基本情報】

計画次数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち			
政策達成課題	003	観光を推進する			
施策	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる			
施策達成課題	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる			
基本事業	038	観光協会運営支援事業			
詳細事業	001	観光協会運営支援事業			
事業期間	平成29年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			
根拠法令等	熊谷市観光協会補助金交付要綱				
課題・分析					

【事業分析】

対象	一般社団法人熊谷市観光協会
目的	本市観光事業の中心組織となる新観光協会の運営を支援し、観光客の誘致及び交流人口の増大を図る。
手段	一般社団法人熊谷市観光協会へ補助金の支出
その他	

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	40,852	39,364	38,590	38,590	0	0	0
事業費	33,264	35,310	38,590	38,590	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	33,264	35,310	38,590	38,590	0	0	0
人件費計	7,588	4,054	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.00	0.53	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-44-01-00-00	観光協会運営支援事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 01566 観光協会運営支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
観光入込客数	人	4,398,000.00 1,829,472.00	4,548,000.00 3,411,560.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
		4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由			
2 事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由			
3 事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
		4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由			
4 事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
		4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由			
5 事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	3
		4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
		3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由			

【1 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1 次コメント （４００文字）		

【2 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2 次コメント （４００文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 01589 「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	003	観光を推進する				
施策	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
施策達成課題	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
基本事業	039	「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業				
詳細事業	001	「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業				
事業期間	平成29年度～					
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常	
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業	
企画課使用欄		事業の分類				
根拠法令等	熊谷市観光協会補助金交付要綱					
課題・分析						

【事業分析】

対象	市民及び観光客
目的	本市の観光振興を図るため
手段	(一社) 熊谷市観光協会が支援する各種伝統行事等に対する運営の補助を行う。
その他	

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	54,283	78,320	71,500	71,500	0	0	0
事業費	33,416	65,700	71,500	71,500	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	33,416	65,700	71,500	71,500	0	0	0
人件費計	20,867	12,620	0	0	0	0	0
一般職員(人)	2.75	1.65	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-49-01-00-00	「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 01589 「まつりのまち熊谷」伝統行事等支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
観光入込客数	人	4,398,000.00 1,829,472.00	4,548,000.00 3,411,560.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
		4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2 目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由			
2 事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由			
3 事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
		4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由			
4 事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
		4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由			
5 事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	3
		4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
		3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由			

【1 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
【熊谷市誕生20周年記念】			
1 次コメント (400文字)			

【2 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント (400文字)			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 00396 妻沼市街地活性化事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち			
政策達成課題	003	観光を推進する			
施策	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる			
施策達成課題	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる			
基本事務事業	048	妻沼市街地活性化事業			
詳細事務事業	001	妻沼市街地活性化事業			
事業期間	平成25年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		
根拠法令等					
課題・分析	市営めめま観光駐車場トイレ（坂田医院旧診療所・井田記念館）、聖天山トイレ（境内 1 か所・駐車場 1 か所）、花埋み観光トイレ（日本学生航空連盟妻沼訓練所敷地内）の維持管理や坂田医院旧診療所等の環境整備を熊谷市シルバー人材センターに業務を委託している。常に環境が整備された状況を維持するには職員が直営で行う場合がある。				

【事業分析】

対象	市民団体、商店街及び観光客
目的	歓喜院聖天堂、坂田医院旧診療所、井田記念館等各施設の有効活用を図るとともに、商店街をはじめ地域の活性化につなげる。
手段	くまがや市商工会と協力し、市営めめま観光駐車場の有効利用を図る。 地元商店街の活性化や市民ボランティアの活躍等、観光客受け入れ体制の充実を図りながら聖天山周辺及び妻沼市街地におけるイベント等に対し、協力・協働する。
その他	

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	5,820	5,829	6,251	7,419	0	0	0
事業費	5,593	5,600	6,251	7,419	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	37	10	10	37	0	0	0
一般財源	5,556	5,590	6,241	7,382	0	0	0
人件費計	227	229	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-51-01-00-00	妻沼市街地活性化事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 00396 妻沼市街地活性化事業

【定量評価】

	指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
観光入込客数		人	4,398,000.00	4,548,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			136,000.00	3,411,560.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
		4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由			
2 事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由			
3 事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
		4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由			
4 事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
		4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由			
5 事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	4
		4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
		3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由			

【1 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1 次コメント （ 4 0 0 文字）	・井田記念館畳替えに伴う費用の増 ・妻沼駐車場トイレ電気温水器故障に伴う交換費用の増 ・イベント前等に行う直営の除草剤散布・草刈作業用の燃料費の新設		

【2 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント （ 4 0 0 文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 02049 熊谷グルメイメント実施事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画				
政策	001	スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち				
政策達成課題	003	観光を推進する				
施策	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
施策達成課題	001	おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる				
基本事業	057	熊谷グルメイメント実施事業				
詳細事業	001	熊谷グルメイメント実施事業				
事業期間	～					
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常	
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業	
企画課使用欄		事業の分類				
根拠法令等	熊谷市観光協会補助金交付要綱					
課題・分析	課題 ・プレスリリースだけでなく、広報に工夫が必要であった。					
	分析 ・マスメディアの番組ごとに情報発信すれば、より効果的に広報できたと考える。					

【事業分析】

対象	市民及び観光客
目的	本市のグルメのPRと商業振興
手段	イベントの開催支援及びホームページやチラシ作成・配付
その他	

【コスト】

(単位：千円)

	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト	5,731	6,988	4,750	4,750	0	0	0
事業費	5,200	5,000	4,750	4,750	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	5,200	5,000	4,750	4,750	0	0	0
人件費計	531	1,988	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.07	0.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-28-01-00-00	熊谷グルメイメント実施事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 02049 熊谷グルメイメント実施事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
入場者・参加者数	人	2,000.00 2,000.00	2,000.00 3,000.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	3
		4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由			
2 事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
		4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由			
3 事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
		4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由			
4 事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
		4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由			
5 事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	3
		4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
		3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由			

【1 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1 次コメント （400文字）			

【2 次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント （400文字）			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 02053 戦略的人流データ活用事業

【基本情報】	
計画回数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
政策達成課題	003 観光を推進する
施策	001 おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる
施策達成課題	001 おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる
基本事務事業	058 戦略的人流データ活用事業
詳細事務事業	001 戦略的人流データ活用事業

事業期間	令和 5年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	
課題・分析	これまではイベントにおける効果検証が不十分であった。携帯電話の位置情報や属性データ等を分析することにより、EBPM（証拠に基づく施策立案）の推進に資することができる。

【事業分析】	
対象	市民、来街者
目的	まちなかを居心地が良く、快適な環境にするための施策を検討する際の基礎資料とする。
手段	携帯電話の位置情報等のデータを取得し、分析する。
その他	

【コスト】								(単位：千円)
	令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	
トータルコスト	0	2,506	15,777	15,777	0	0	0	
事業費	0	2,277	15,777	15,777	0	0	0	
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	0	2,277	15,777	15,777	0	0	0	
人件費計	0	229	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度属託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-62-01-00-00	戦略的人流データ活用事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5年度 進捗区分 2次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 02053 戦略的人流データ活用事業

【定量評価】										上段：目標値 下段：実績値
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度		
観光入込客数		0.00 0.00	4,548,000.00 3,411,560.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5 4 3 2 1	他の事務事業に優先して実施する必要がある 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 目的をある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	4
	理由				
	事中評価		5 4 3 2 1	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	2
	理由				
	事中評価		5 4 3 2 1	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	3
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5 4 3 2 1	直接の対象は、すべての市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	5
	理由				
	事中評価		5 4 3 2 1	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	2
	理由				
	理由				

【1次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント （400文字）	R7年度都市空間情報デジタル基盤構築支援事業の要望として、都市計画課の方でL0D2整備に予算多くを割り振るため、全体として予算の縮減が必要となった結果、今年度は本事業において国庫補助を要求しないこととなり、商業観光の方から裏負担分を予算要求はしないこととなったため。	

【2次評価結果】		
事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント （400文字）		

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 02074 観光 P R 階段アート事業

【基本情報】	
計画回数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	001 スポーツ・観光を通じて魅力を発信するまち
政策達成課題	003 観光を推進する
施策	001 おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる
施策達成課題	001 おもてなし・受け入れ態勢を整備・充実させる
基本事業	061 観光 P R 階段アート事業
詳細事業	001 観光 P R 階段アート事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	無
課題・分析	「暑さ対策」涼しさ体感アート事業の実施により、情報発信における効果があった。 令和5年度から同事業を実施しないとの事から、階段を利用しスポーツを観光資源ととらえ、観光情報の発信とともに、スポーツの情報発信することで、再来訪のきっかけに寄与すると思われる。

【事業分析】	
対象	市民・市外の方
目的	市民の方へスポーツ情報を発信し、スポーツによるまちづくりを推進するとともに、スポーツイベント等で本市を訪れた方に観光イベント情報等をPRし、スポーツ以外の本市の魅力をPRすることを目的とする。
手段	情報発信
その他	

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 4年度 決算額	令和 5年度 決算額	令和 6年度 予算額	令和 7年度 計画額	令和 8年度 計画額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額
トータルコスト		0	1,427	1,400	1,400	0	0	0
事業費		0	1,198	1,400	1,400	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	1,198	1,400	1,400	0	0	0
人件費計		0	229	0	0	0	0	0
一般職員（人）		0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度雇託職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-03-15-01-00-00	観光 P R 階段アート事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 5 年度 進捗区分 2 次評価
所属 3510000 産業振興部商業観光課
短縮番号 02074 観光 P R 階段アート事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
観光入込客数	人	0.00 0.00	4,548,000.00 3,411,560.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
	理由		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
	理由		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
	理由		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
	理由		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直してゐる	2
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直してゐる	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
	理由		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1 次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1 次コメント （4 0 0 文字）		【熊谷市誕生 2 0 周年記念】	

【2 次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2 次コメント （4 0 0 文字）			